

“コロナ禍”いつまで続く？

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行は今年で3年目となり、
いまだに世界中で感染者の増加が続いています。いったいつになったら収まるのでしょうか？
また、これから私たちは、どのように行動すれば良いのでしょうか？

ウイルスが変異するのは特別なことではありません

2019年12月に中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬間に世界中に拡散しましたが、その後も、デルタ株やオミクロン株など、新たなタイプのウイルス（変異ウイルス）が次々と現れ、流行の拡大に拍車をかけています。

変異ウイルスなどという恐ろしい言葉は聞くと、何かとんでもないことが起こっているように思うかもしれませんが、実は、ウイルスの「変異」というのは決して特別なものではなく、どんなウイルスでも常に起こり得ることです。

ウイルスは、感染した生物の細胞内で自分の遺伝子のコピーを次々と作って増殖しますが、何かの拍子にコピーミスを起こすことがあります。このコピーミスによってウイルスの形態や性質が変化することを、ウイルスの変異と呼びます。

ウイルスが変異を起こすと、元のウイルスに比べて感染力が強くなったり、ウ

イルス感染による病気が重症化しやすくなったり、ワクチンが効きにくくなったりすることがありますが、反対に、感染力が弱くなったり、重症化しにくくなったりすることもあります。変異ウイルスが現れたら、そのウイルスの性質を速やかに調査、分析し、それに応じた適切な対策を進めることが大事です。

当たり前の感染防止対策をしっかりと

今後もさらに、新たな変異ウイルスが次々と現れる可能性があります。変異ウイルスが現れても、私たちがやるべき感染防止対策は、基本的には変わりはありません。

不要不急の外出をしない、密集、密閉、密接の状態を避ける、マスク着用や手洗いをしっかりと実行する、ワクチン接種を受ける、どれもみなこれまでやってきた「当たり前のこと」ばかりです。

しかし、コロナ禍が長引くにつれて、こうした状況に慣れてしまい、**当たり前の感染防止対策がおろそかになってい**

る人たちや、すっかり油断してしまっている人たちのいることが、**感染流行の収束を遅らせている原因の一つ**になっているかもしれません。

これからどうなる？

この2年の間に、COVID-19に関する研究が進められ、ウイルスの特徴や治療方法など、いろいろなことが分かって来ています。治療に関しては、ウイルスの増殖を抑えるはたらきのある飲み薬も使えるようになりました。

これからの感染状況がどのようになるか、徐々に収束に向かうのか、あるいは、さらに大きな流行の波が押し寄せるのか、予測するのはなかなか難しいところですが、今後、どのような変異ウイルスが現れるかだけでなく、皆さん一人一人がどのように考え、どのように行動するか、これが一番重要な鍵になると思われます。

(保健管理センター・センター長・^{はが}羽賀 将衛)

